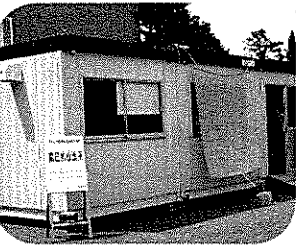


土砂災害を学習する5年生

出前授業で土砂災害を学習

「土砂災害防止月間」イベントとして、6月29日（火）鳥取県西部総合事務所県土整備局の職員と砂防ボランティアにより西伯小学校で出前授業を行いました。5年生51人が、まずビデオで、県内で起きた災害の様子を知り、次に町内の地図を見ながら、自宅の周りの土砂災害危険場所や砂防ダムの位置を調べました。雨の降り方と流れる水の速さや量との関係が、土砂災害につながるポイントだと分かりました。

短い時間でしたが、みんな楽しく災害について学んだ授業でした。



期日前投票所

期日前投票はプレハブハウスで

選挙区の有権者数6,646人で、投票者4,630人が69.67%、その内期日前投票者は556人8.4%でした。

「みんなで投票、みんなに参加、あなたの一票大切に。」



開票の様子

第20回参議院選挙が6月24日告示され、翌25日から投票日の前日7月10日まで「期日前投票」が、役場駐車場のプレハブハウスで行われました。

期日前投票は、選挙当日に仕事や用務があつて選挙に行くことが出来ない人が、前もって投票する制度です。選挙期日（投票日）と同じく、投票管理者、事務従事者、投票立会人を置いて、投票用紙を直接投票箱に投票します。



「飲み物をどうぞ！」選手に手渡すボランティア

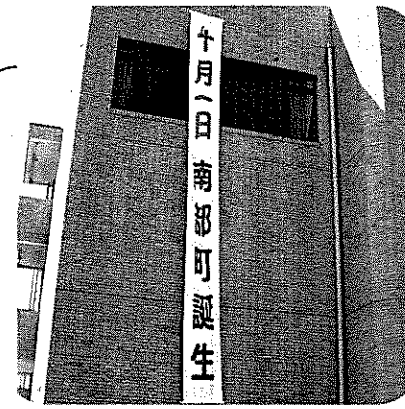
夏本番・皆生トライアスロン

第24回全日本トライアスロン皆生大会が7月18日（日）に行われました。朝7時、皆生海岸をスタートした選手は、水泳3km、自転車140km、マラソン42.195kmに挑みました。西伯町内は、自転車道で15から25km地点を走行します。安全に競技できるように、20か所のポイントにボランティアスタッフが立ち応援しました。また、掛相地内のエイドステーションでは、食べ物や飲み物を選手に手渡しました。

暑い夏、鉄人たちの鍛え上げられた体力と気力に熱い声援をおくりました。



エイドステーションのボランティアスタッフ



懸垂幕を掲揚

懸垂幕で新町をアピール

西伯町と会見町が10月1日に合併して「南部町」になることが7月1日総務省告示第514号「町の配置分合」で正式に決まりました。7月5日（月）、両町の役場庁舎に「南部町誕生」の懸垂幕が掲げられました。町民が一丸となって新町発足に向けて、機運を盛り上げていきましょう。役場前に集まった住民や職員約50人が見守る中、庁舎屋上から懸垂幕が下ろされると拍手が起きました。



マグネット板を取り付ける中学生

また、わくわくチャレンジ西伯町で職業体験をしていた法勝寺中学校2年生の藤原真史君と秦野ひかりさんが、町長公用車に新町誕生をアピールするマグネット板を取り付けました。10月1日「南部町誕生」まで2か月をきりました。「南部町」の新しい門出に向けて、一層のご協力をお願いします。

七夕まつりのお祝いを



7月6日（火）大木屋地区のいきいきサロンでは、童心に返って七夕まつりをしました。西伯町のなかでも一番高齢化率が高い大木屋地区、参加者は通常より少なかったですが、短冊に願い事を書いて笹竹に吊り下げられました。短冊には「病気をしませんように」「幸福の日」「七夕は、子ども年よりよろこぶ日」など書いてありました。すいかや大山おこわなどご馳走も用意され、会話をしながらにぎやかな会食をしました。



七夕飾りの前で全員集合